

令和元年度 事業報告

令和元年度における当連盟の活動は、次のとおりでしたので報告いたします。

1 会議の開催

- ・常任総務会：5回（1/30、4/3、6/5、10/9、12/18）
- ・総務会：2回（2/20、11/13）
- ・評議員会：2回（3/27、12/4）
- ・監査会：1回（2/2）
- ・参議院選挙拡大選対会議：1回（7/20）
- ・本田あきこ選挙報告会：1回（9/11）

2 本田あきこ 第25回参議院議員選挙

令和元年7月21日投票の第25回参議院選挙において、全国159,596票、神奈川県では8,711票を獲得し、医師会候補を抜き自民党新人でトップ当選を果たした。役員・支部・地域連盟、地域薬剤師会の協力のもと様々な活動を行った。また、地域の研修会や総会等へ役員を派遣し、政治の必要性を訴えるとともに本田あきこ氏の周知を行った。4月には神奈川県キャラバンと称し、本田あきこ氏と横浜市・川崎市の354軒の薬局や卸を訪問した。協力議員においてはパーティーでの宣伝活動、支援者名簿、電話作戦等を頂いた。選挙期間中は、7/15、7/16の2日間に亘り地元議員29名、役員22名、地元薬剤師97名の協力のもと街頭・駅頭での宣伝活動を行った。

支援者名簿16,894名、選挙ハガキ3,530枚、政党ポスター14,900枚配布、選挙ポスター3,530枚配布、電話作戦5,335件、本田あきこ励ます会（4/17）、川崎市5ヶ所（7/15）、横浜市7ヶ所（7/16）での街頭・駅頭宣伝活動、地域薬剤師会行脚6回、卸訪問24社。

＜協力頂いた国会議員11名、県議15名、横浜・川崎市議33名＞

3 イベントの開催

「本田あきこ励ます会」を4/17に開催し、松本純議員、藤井基之議員をはじめ多くの自民党議員、支援者にお集まり頂き盛大に行った。

（総勢382名：国会議員20名、県議10名、横浜・川崎市議18名、卸65名、推薦団体11名、横浜薬科大学10名、薬剤師248名）

4 会員増強運動

（1）支部・地域連盟での取り組み

会費請求時や本田あきこの周知活動と一緒にを行った。

項 目		R 1 年度	H 30 年度	H 29 年度
新規会員への勧誘		345 名	253 名	289 名
新規会員の獲得	県 薬 連	45 名	57 名	57 名
	地域連盟	14 名	8 名	23 名

(2) 地域薬剤師会の会議の出席

地域薬剤師会（県薬・横浜市薬・西区・中原区・平塚中郡）の総会・研修会へ執行部役員が出席し、連盟の必要性を訴えた。

(3) 県薬新規入会者への勧誘

平成 30 年 7 月から令和元年 8 月までの 345 名に対して、入会案内を送付 12 名の入会を得た。

5 かながわ若手薬剤師フォーラム 2019 の開催

薬剤師の政治に対する理解を深め、若手の交流を図るため第 3 回目となるフォーラムを行った。松本純衆議院議員からは法案成立の経緯から保険点数までの繋がりをわかりやすく講演頂き、中西健治参議院議員からは金融のスペシャリストとしてキャッシュレスの現状と今後について講演頂いた。発信力のある薬剤師をテーマにグループディスカッションを行った。

・11/17（日）・・・参加者：若手薬剤師 38 名、薬学生 5 名、役員 21 名 総勢 64 名

6 機関紙の発行その他の事業

(1) 連盟だよりの発行

神奈川県薬剤師会会誌「薬壺」に連盟だよりを掲載した。

（年 6 回、1 回あたり 4 頁～6 頁）

毎号に、松本純衆議院議員及び藤井もとゆき参議院議員の国会報告、本田あきこ日本薬剤師連盟副会長の活動報告を掲載した。

その他の主な掲載記事

- 1・2 月号 新年会長挨拶
- 3・4 月号 「本田あきこ」後援会活動のお願い、かながわ薬剤師フォーラム 2018
- 5・6 月号 参議院選挙通常選挙の楽しみ方
- 7・8 月号 「本田あきこ」後援会活動について
- 9・10 月号 参議院選挙の結果とお礼
- 11・12 月号 かながわ若手薬剤師フォーラム 2019 ご案内

(2) 広報活動

ホームページに本田あきこ氏の挨拶動画や活動記録などを掲載した。また、本連盟の活動紹介や本連盟と政策協定を結んだ議員のホームページとのリンクをした。

本連盟の入会案内と活動報告を内容とする 3 折りのパンフレットを地域薬剤師会の研修会等で配布した。

7 地域連盟への支援

26 地域薬剤師連盟に対して、寄附金の 12% (2, 113 千円) を活動費として交付した。

8 自民党・公明党県連予算要望

令和2年度県・国への予算要望（自民党 7/1、公明党 7/30）を行い、自民党より県・国からの回答を11月に受領した。

（1） 国への要望

- ① 医薬品登録販売者研修について
- ② マイナンバーカードを活用した医療関係のICT化について
- ③ 健康サポート薬局への現地確認について
- ④ 救命救急士によるトラネキサム酸投与について
- ⑤ 審査情報の地方厚生局への情報提供について

（2） 神奈川県への要望

- ① 適正な医療費負担の実現と社会正義の確立について
- ② 生活保護受給者に対する事務手続きの統一化について
- ③ 健康サポート薬局への現地確認について
- ④ 未病対策と連携した県民のための薬局の充実（新たな「未病ステーション（仮称）」）について
- ⑤ 審査情報の厚生局への情報提供について
- ⑥ 行政と薬局の連携強化による県民の健康増進について

9 政党への支援

自由民主党に、党員80名を登録した。

自由民主党神奈川県支部連合会各種団体懇話会へ参加した。

10 議員、首長への支援

（1） 松本純衆議院議員関係

1区支部大会・後援会総会（3/4）、政経セミナー（6/17）、励ます会（10/21）、忘年会（12/9）への参加。

（2） 黒岩祐治神奈川県知事関係

後援会5名登録、後援会総会（3/7）・励ます会（12/3）への参加。

11 日本薬剤師連盟関係

全国会長・幹事長連絡協議会（3/2～3、11/13）

評議員会（3/27、9/18）

組織強化委員会（毎月）

組織強化担当者会議（毎月）

関東ブロック協議会（11/16）

JPL フォーラム（2/11）

次世代を担う薬剤師フォーラム（9/15～16）